

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
瑞浪市	水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			現行の経営体制を継続
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●				

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(水道事業)広域化等				
実施済	●	(実施類型)			
	●	経営統合	施設の共同設置・利用		
実施予定		施設管理の共同化	管理の一体化		
		(取組の効果額)	(実施(予定)時期)		
		百万円(年)	平成 22 年	4 月	1 日
検討中		(取組の概要)	(取組の効果額内訳)		
			効果額未算定		
		(検討状況・課題)			

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
瑞浪市	簡易水道事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組							
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			現行の経営体制を継続
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
●							

抜本的な改革の取組状況

取組事項	事業廃止	(取組の概要)	(全部と一部の別)	(実施(予定)時期)
実施済	●	(取組の概要) ①陶・水川簡易水道を平成16年4月1日に統合。 ②日吉月吉簡易水道を平成19年4月1日に統合。 ③平山簡易水道を平成22年4月1日に統合。	(全部と一部の別) 全部廃止 ● 一部廃止	(実施(予定)時期) 平成 22 年 4 月 1 日
実施予定		(取組の効果額) 百万円(年)	(取組の効果額内訳) ①診療所化・介護施設化 ②簡易水道事業の飲料水供給施設化 ③事業目的の完了 ④民営化・民間譲渡による廃止 ●⑤広域化による廃止 ⑥その他	
検討中		(取組の概要)	(検討状況・課題)	

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
瑞浪市	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			現行の経営体制を継続
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●			●	

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道事業)広域化等				
実施済	●	(実施類型) 汚水処理施設の統廃合 ●	(取組の概要) ①【概要】し尿処理施設の老朽化に伴い、共同処理を開始。【効果】老朽化した施設更新が不要となり、また、以前は処理場と離れたところにあったため、民間に委託していたが、共同処理により、浄化センターの職員が兼ねて事業を行うことが可能となった。平成30年4月1日供用開始。②【概要】農業集落排水3処理区のうち、2処理区を統合し、令和3年4月1日供用開始。【効果】2処理施設の更新が不要となった。コスト縮減累計額は令和34年時点で6億6,500万円。 ●	(実施(予定)時期) 平成 30年 4月 1日	
		処理場廃止あり ●	処理場廃止なし		
		公共下水・流域下水の統合	公共下水同士の統合	集落排水・公共下水との統合	特環下水と公共下水との統合
		●		●	その他
実施予定		汚泥処理の共同化 維持管理・事務の共同化 最適な汚水処理施設の選択(最適化)			
		54 百万円(年)	(取組の効果額内訳) ・維持管理費 年△5,400万円		
検討中	➡	(取組の概要)	(検討状況・課題)		

取組事項	民間活用(PPP/PFI方式の活用)		
(実施状況)	実施済	(取組の概要)	
	実施予定		
(検討状況)	検討中	(取組の概要)	
	●	令和6年度にWPPPの国土交通省のモデル都市に選ばれしたことにより検討を始めた。	
(方式)	(導入・契約(予定)時期)		
BTO方式		公共施設等運営権方式 (コンセッション方式)	
BOT方式			
BOO方式		港湾運営会社制度	
DB方式			
DBO方式		その他	
	年	月	日
(取組の効果額)	(取組の効果額内訳)		
百万円(年)			
(検討状況・課題)			
令和7年度に他市との共同発注の検討を行う。			

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
瑞浪市	下水道事業	農業集落排水施設	

実施状況

抜本的な改革の取組							
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			現行の経営体制を継続
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●			●	

抜本的な改革の取組状況

取組事項	(下水道事業)広域化等				
実施済	●	(実施類型) 汚水処理施設の統廃合 ● 処理場廃止あり 処理場廃止なし ●	(取組の概要) 農業集落排水3処理区のうち、2処理区を公共下水道に統合。令和3年4月1日供用開始。	(実施(予定)時期) 令和 3 年 4 月 1 日	
実施予定		公共下水・流域下水の統合 公共下水同士の統合 集落排水・公共下水との統合 特環下水と公共下水との統合 その他 ●			
	汚泥処理の共同化 維持管理・事務の共同化 最適な汚水処理施設の選択(最適化) ●				
	(取組の効果額) 23 百万円(年)	(取組の効果額内訳) ・維持管理費 年△2,300万円			
検討中	➡	(取組の概要)	(検討状況・課題)		

取組事項	民間活用(PPP/PFI方式の活用)		
(実施状況)	実施済	(取組の概要)	
	実施予定		
(検討状況)	検討中	(取組の概要)	
	●	令和6年度にWPPPの国土交通省のモデル都市に選ばれしたことにより検討を始めた。	
(方式)	(導入・契約(予定)時期)		
BTO方式		公共施設等運営権方式 (コンセッション方式)	
BOT方式			
BOO方式		港湾運営会社制度	
DB方式			
DBO方式		その他	
	年	月	日
(取組の効果額)	(取組の効果額内訳)		
百万円(年)			
(検討状況・課題)			
令和7年度に他市との共同発注の検討を行う。			

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
岐阜県瑞浪市	宅地造成事業	その他造成	

実施状況

抜本的な改革の取組						
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用		
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用
●						

現行の経営体制を継続

抜本的な改革の取組状況

取組事項	事業廃止	(取組の概要)	(全部と一部の別)	(実施(予定)時期)
実施済	●	土地区画整理事業の完了に伴い事業廃止。	全部廃止 ●	平成 27 年 3 月 31 日
実施予定			①診療所化・介護施設化 ②簡易水道事業の飲料水供給施設化 ● ③事業目的の完了 ④民営化・民間譲渡による廃止 ⑤広域化による廃止 ⑥その他	
		(取組の効果額) 百万円(年)	(取組の効果額内訳) 事業目的の完了による廃止のため。	
検討中		(取組の概要)	(検討状況・課題)	

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
瑞浪市	駐車場整備事業	—	

実施状況

抜本的な改革の取組						
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用		
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用
				●		

現行の経営体制を継続

抜本的な改革の取組状況

取組事項	民間活用(指定管理者制度)		
(取組の概要)	実施済		(実施(予定)時期)
	実施予定		年 月 日
(取組の効果額)	(取組の効果額内訳)		
	百万円(年)		
(取組の概要)	(検討状況・課題)		
	<p>市営駐車場隣接地に複合公共施設の建設を計画しており、市営駐車場の一部拡張とあわせて一体的に整備運営を行う可能性があつたためPPP/PFI方式を検討していた。複合公共施設について駐車場と一体的に整備運営する可能性がなくなったため、今後は、指定管理者制度を主に、民間ノウハウの利活用について検討を行う。</p> <p>令和7年3月に改定した「駐車場整備事業経営戦略」において、指定管理者等への委託を含めた民間ノウハウの利活用について検討を行うこととした。課題については、効率的な運営によるコスト削減を追及するインセンティブが働きやすい一方、それがサービスの質の低下につながる可能性があると考える。</p>		